



リニューアルされた図書館3階
「Jクアドラント」

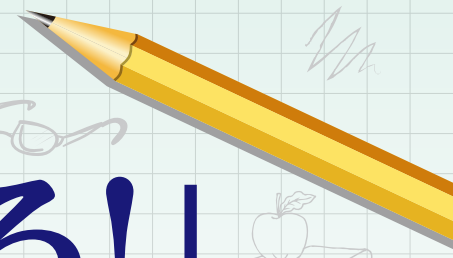
- 2 [特集1] 岐経大で「教員になる！」
- 4 [特集2] 学生座談会「地域と共に歩む」
岐阜経済大学の未来を語ろう
- 6 図書館 リニューアルオープン！
- 7 教育最前線
- 8 輝け！アスリートたち
- 10 キャリア支援課だより
- 11 Close-up OB
- 12 キャンパス彩々
- 13 研究室だより
- 13 近著紹介
- 14 平成26年度決算報告
- 16 お知らせ





特集①

岐経大で「教員になる！」



岐阜経済大学では、定められた単位を取得することで、中学校や高等学校の教育職員免許状を取得することができます。

今回の特集では、入学してから卒業式に免許状を受け取るまでの4年間の流れや、在学生・OB・教職担当の教員からのアドバイスなど、教育職員免許状取得に向けたポイントをまとめてみました。

これから教員を目指す皆さん、必読です！

岐阜経済大学で取得できる教員免許状

学部	経済学部		経営学部		大学院
学科	経済学科	公共政策学科	情報メディア学科	スポーツ経営学科	経営学研究科
中学校教諭1種	社会	社会		保健体育	
高等学校教諭1種	地理歴史 公民 商業	公民 福祉	商業 情報	保健体育 商業	
高等学校教諭専修					商業 情報

教育実習体験談

経営学部スポーツ経営学科4年 当山 優菜さん
(沖縄県 知念高校出身)



私は、5月25日(月)～6月12日(金)まで、3週間教育実習に参加しました。実習はとても充実していて楽しかったです！生徒や同じ実習生から刺激を受けながら過ごすことができ、また、在学時とは違った見方で、先生方の愛情も見ることができました。

実習では特に「保健」の授業が難しく、指導案や授業作りをしっかりとできるようになることの重要性を痛感しました。

実習期間を終えて、教師を目指す上で一番大切だと感じたのは「努力」です。教員採用試験に向けての努力も勿論ですが、学び続けること、あらゆることに全力で取り組むことが必要です。

何事にも全力でやってきた人は多くの引き出しをもつことができると思います。沢山の生徒に幅広い話ができるように、私も努力して教員になりたいと思いました。

MESSAGE



教職担当教員からのメッセージ

経済学部

伊藤 敏雄 教授

本学では、教員としての専門性を身に付けることを通して、地域を支える総合的な能力と実践力を備えた教員の養成を目指しています。

教員になることは簡単ではありませんが、教職は生徒の人間的な成長に立ち会えるという、何にも代えがたい喜びを経験することができます。本学で教員になるべく頑張ってみませんか。

OB MESSAGE

教員志望の私がやってきたこと



畠山 晶利さん

経営学部スポーツ経営学科
2010年度卒業

(4月より京都府立
木津高等学校保健体育教諭)

私が岐阜経済大学に入学したのは「教員になる」という明確な目標があったからです。しかし、学生時代の私は一人暮らしの開放感から単位取得が思ったように出来ず、4年で教員免許を取得できないことになりました。その時に諦めようかと気弱になりましたが、当初の目標に立ち返りこの時間を有効にしようと考え、まず行動したのは教職支援室(現PAC支援室)に行くことでした。そこで勉強するとともに、多くのアドバイスをもらうことが出来ました。その中で私が実践したことは、中学体育と高校商業の免許状取得でした。5年かかることをプラスにとらえ、高校の免許状取得しか考えていなかった私は、複数免許という武器を持つことにしたのです。また、課外体育サポーターにも行きました。学校教育の実際の状況は教育実習の3週間では分かりません。非常に貴重な体験になりました。講師をするようになってからは学生時代のように自由な時間が少なく、勉強時間も確保できません。そこで、問題集を解くよりも、自分で問題を作り解答することで、2度学習するという効率を考えた勉強に取り組みました。自分では、この勉強法が一番成果があったと思います。

何事も、まずは行動することが大切だと思います。私も多くの失敗を繰り返しました。しかし、行動し続けることで新たな道も見えてくると思います。

教育職員免許状取得までの4年間の流れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	● 教職課程ガイダンス	● 教職課程履修申込書提出	 <p>1 業者主催の模擬試験も、学内で受験可能です。</p>	<p>「教職総論」「教育原理」を履修して、教育の歴史や原理、教師の職務などについて学びます。</p>								
				<p>2 教科に関する科目や教科教育法を履修して、内容や教材、指導方法などについて学びます。</p>								
2年	● 教育実習ガイダンス	● 教育実習申込書提出	<p>① 学内模試</p>	<p>保健体育の免許状希望者は、※体育授業インターンシップや課外体育インターンシップに参加して、実践力を高めます。</p>								
				<p>③ 介護等体験事前指導</p> <p>◇ 介護等体験</p> <p>中学校の免許状取得希望者は、6月から2月までの間で計7日間、実施が必要！</p>								
3年	● 教育実習手続きガイダンス	● 教育実習申込書提出	<p>① 学内模試</p>	<p>③ 介護等体験</p>	<p>④ 試験直前面接指導</p> <p>（学校毎に時期は異なる）</p>	<p>● 面接指導</p> <p>● 中学校二日研修ガイダンス</p> <p>● 面接指導</p> <p>● 中学校二日研修（11月～1月）</p> <p>● 学内模試</p> <p>① 学内模試</p> <p>教育実習事前指導の一環として、全員が参加します。</p>	<p>② 教職課程懇談会</p>		<p>● 面接指導</p>			
							<p>② 教職課程懇談会</p>		<p>● 面接指導</p>			
4年	● 教育実習直前ガイダンス	● 教育実習直前ガイダンス	<p>① 学内模試</p>	<p>③ 介護等体験</p>	<p>④ 試験直前面接指導</p> <p>（学校毎に時期は異なる）</p>	<p>● 面接指導</p> <p>● 中学校二日研修ガイダンス</p> <p>● 面接指導</p> <p>● 中学校二日研修（11月～1月）</p> <p>● 学内模試</p> <p>① 学内模試</p> <p>教育実習事前指導の一環として、全員が参加します。</p>	<p>② 教職課程懇談会</p>		<p>● 面接指導</p>			
							<p>② 教職課程懇談会</p>		<p>● 面接指導</p>			
<p>● 教育職員免許状交付（卒業式）</p>												

体育授業インターンシップ・課外体育インターンシップって？

体育授業インターンシップは、小中学校の授業補助活動を行う制度です。これによって、授業づくりへの理解を深めるとともに、高度な職業観、責任感、問題意識をもった教員を養成することを目的としています。

課外体育インターンシップは、小中学校で課外体育の指導（運動部活動など）の補助を行う制度です。この取り組みによって子どもを見る目を養うことが期待できます。また、大学の講義科目である「特別活動論」で学ぶ内容を教育現場で確認する意味を持っています。

どちらも、保健体育科教員を目指す学生を対象とした、小中学校の現場での有意義な実践活動となっており、インターンシップ科目として単位認定もされます。



体育授業
インターンシップ



課外体育
インターンシップ





特集②

「地域と共に歩む」

岐阜経済大学の未来を語ろう。

マイスター倶楽部、ポフンティアラーニングセンター、ソフトピア共同研究室、アスリート育成クラブの各代表学生が竹内副学長(地域連携担当)と座談会を行いました。

岐阜経済大学は「自主と自由」「全人教育」「地域との共生」の3つを教育理念に掲げています。中でも「地域との共生」は公設民営大学として本学が最も大切にしているものであり、この理念を指針に、4学科がそれぞれ専門性を生かした学外活動を行っています。

「地域貢献をしながら学ぶ」岐阜経済大学の特徴をお伝えするべく開催した今回の座談会。各団体の代表学生が集まり、竹内副学長(地域連携担当)を囲んで「大学生らしい地域貢献の形」今後歩むべき未来等をテーマに語り合いました。

竹内治彦副学長

以下 竹内 まずは自己紹介を兼ねて、それぞれの活動内容を紹介してください。

桐山敬太さん(マイスター倶楽部代表)

以下 桐山 私たちマイスター倶楽部は、JR大垣駅南口の空き店舗に設置した「まちなか共同研究室」を拠点に、大垣市や大垣商工会議所、大垣市商店街振興組合連合会と連携しながらさまざまな地域活性化プロジェクトを企画運営しています。活動のテーマは、商店街で農業の可能性を探るグループ、大垣市在住の日系人に学習支援を行うグループ、食観光に着目したグループなど5つ。どうしたら大垣という「まち」で多くの人がつながり、賑わいを創出できるかをグループ単位で考え、行動しています。

成瀬公貴さん(ポフンティアラーニングセンター代表)

以下 成瀬 私はポフンティアラーニングセンターに所属しています。東日本大震災の復興支援活動をしてきた学生が2011年6月に立ち上げた団体で、主な活動はポフンティアがしたい学生に活動の場や機会をコーディネートすること。支援を必要としている地域の方々の窓口となることや、自主ポフンティアの企画運営も行っています。

大野美憂さん(ソフトピア共同研究室代表)

以下 大野 私が参加しているソフトピア共同研究室では、地元企業や自治体とICT(情報通信技術)

に関する共同研究開発を行っています。障がいのある子どもたちが楽しく効果的に学べるタブレット端末用のデジタル教材や、地域の防災無線インフラと連携したスマートフォン向けの防災情報アプリなど、研究テーマはさまざま。特にグループは多く、各自が興味を持った題材に自由に取り組んでいるのも特徴です。

森下聖太さん(アスリート育成クラブ代表)

以下 森下 アスリート育成クラブは、ジュニア世代のアスリート育成発掘と指導スキル向上を目的に誕生しました。そして昨年4月から、週1回の「アスリート教室」を本格的にスタートさせています。参加しているお子さんは小学生から高校生まで20人くらい。レクリエーションの要素も盛り込み、皆で楽しく長く続けられるスポーツ交流をめざしています。

竹内 マイスター倶楽部の開設が1998年10月、ソフトピア共同研究室内の開設が1999年4月。この2団体については、1990年代生まれの君たちと変わらないくらいの歴史があります。

桐山 開設当時は学生が大学のキャンパスを出て、それも地域社会を巻き込んでアクティブに研究活動を行うことが珍しかったので、メディアにもぜひ取り上げられたと聞いています。



体験型博覧会「おむすび博」で「食」をテーマに企画立案しました。(桐山さん)

竹内 普段の授業では味わうことができない体験を積みながら、地域社会とつながり、多くの気づきを得る。マイスター倶楽部の開設は、そんな新しい学びの形を生み出す契機になりましたね。最近では高校生にも同様の動きが見られます。今後は大学ならではの連携の仕組みや専門性を地域社会でどう生かしていくかという視点がより強く求められるでしょう。そのあたりについて、皆さんの意見を聞かせてください。

森下 高校までの私は、スポーツは勝つために努力するものだと思っていたのですが、大学に入ってから価値観が大きく変わりました。きっかけは「スポーツ原論」の授業を受けたことです。「スポーツは本来ゲームであって楽しむもの。楽しくて夢中になっている時が最もパフォーマンスが上がる」という考え方を学んだのです。そこで、アスリート育成クラブでは理にかなった身体の使い方などの技法と共に、「一生懸命楽しみ、競技力を向上させる」ことを子どもたちに伝えようという努力をしています。

竹内 アスリート育成クラブのメンバーにはぜひ将来スポーツや教育の世界を明るく照らす人材になってほしいですね。他に、大学の授業では動作分析や映像解析の時間もあると思うので、そういう技法も地域の少年スポーツ指導に提供してあげてください。



腕や足の動きまで1人1人に合わせて指導しています。(森下さん)



情報処理学会でスマホを活用した防災無線支援サービスについて発表しました。(大野さん)

大野 はい。たとえばプログラミング言語など、ITの知識やスキルは高校生でも勉強することができるかもしれません。でも大学の授業では、それらを使ってどんなことができ、私たちの暮らしはどう変化するのかに重点を置いていると感じます。そういう学びは今私を取り組んでいる防災情報アプリの開発にも生かされています。システム更新のしやすさや画面のデザインなど、常にユーザー視点の発想で改良を進めてきました。

竹内 成瀬君はどんなことを考えていますか？

成瀬 困っている人の役に立ちたいという気持ちさえあれば、ボランティアはいつでもどこでも始めることができます。でも、私たち「ボランティア・コーディネーター」の役割は実は簡単ではありません。参加する人の希望や特性に沿うマッチング、安全性の確保、活動を継続していける仕組みづくりなどがより重視されるようになってきたからです。このような背景があることを常に意識し、経験を積み重ねる中で徐々に専門性を確立していけたらと考えています。

竹内 マイスター倶楽部は開設から17年の歴史を歩んできて、今まさに過渡期を迎えていると思います。若いエネルギーを提供するだけに留まらない専門性や独自性をどう発揮し続けていくかが課題ですね。

桐山 地域活性化プロジェクトはボランティアと同じ

ように、やる気さえあれば誰でも取り組めるもの。だからマイスター倶楽部の活動は、大学の学びとリンクさせることが大切だと考えています。たとえば私は「食観光」をテーマに活動しているので、フードツーリズムという専門的な視点が欠かせません。地域の食資源をどのように生かして旅行者を誘致するか。そのヒントを求めて、(株)デリカサイトの堀会長が講師を務める「食環境論」の授業を履修しました。活動に関する相談にも乗っていただいたのですが、実体験に基づくと先生のアドバイスには説得力があり、大いに刺激を受けました。

竹内 企業経営の第二線に立つ講師の授業を受け、その学びを実践に生かしながら地域に貢献する好循環が生まれていますね。さらには開設以来、17年にわたって蓄積された知見ノウハウもある。そういった強みを今こそ、体系的にまとめてみてはいかがでしょうか。「マイスター倶楽部が提供する地域活性化プロジェクトはひと味違う」と胸を張れるものを。

桐山 そうですね。先輩方から連綿と受け継ぐ地域社会とのつながりや交流は、マイスター倶楽部の大きな財産。アドバイスをいただいた通り、今後は専門性や独自性をより磨きながら活動を続けるとともに、後輩に継承していくための知見ノウハウの体系化を進めていきたいと思っています。

竹内 今日、話してきたように、この15年くらいで、地域と大学との関係はすいぶんと変わりました。あらゆる教育機関が地域志向を強める中で、大学らしい知的

基盤を活かした取り組みや、地域活動が大学の学びと有機的に結びついて、より高い学習効果をあげていくアクティブラーニングの仕組みづくりが求められています。本学は、バイオエアの新たな役割を果たしてきたと言えると思いますが、今後も革新的な活動や提案を地域社会に提供し、バイオエアであり続けなければならぬと思います。そのために、我々教職員も様々な取り組みをしますが、何より学生の皆さんが、常に新たな展開をイメージしながら、日々の活動を刷新していただけたらことも期待しています。

本日はありがとうございました。



コーディネートだけでなく、自主企画も随時行っています。(成瀬さん)

座談会参加者



竹内 治彦氏

地域連携担当副学長
経営学部 教授



マイスター倶楽部代表

桐山 敬太さん

経済学部経済学科4年
(滋賀県 彦根総合高校出身)



ボランティア・
ラーニングセンター代表

成瀬 公貴さん

経済学部公共政策学科4年
(岐阜県 大垣養老高校出身)



ソフトピア共同研究室代表

大野 美憂さん

経営学部情報メディア学科2年
(岐阜県 関有知高校出身)



アスリート育成クラブ代表

森下 堅太さん

経営学部スポーツ経営学科1年
(愛知県 成章高校出身)

2015年3月リニューアルオープン!

入館



2015年3月に文部科学省の補助金を活用して、図書館が大幅にリニューアルされました。在学生が図書館内をレポート!

学生証をかざすだけで
ゲートがOPEN!
利用状況や滞在時間も
記録されます。



1階

—自校教育のフロア—

岐阜経済大学について知ることができます。



岐阜経済大学の歩みを記した年表

図書館は1977年に
完成したんだね



自治体や関連企業の年史もあります



新聞は毎朝ここでチェック!

2階

—アクティブラーニングのフロア—



探したい図書はOPACで検索!



タブレットを活用して活発な討論ができます



スタッフおすすめの
図書コーナーも



3階

—懇談と学びのフロア—



間仕切りのついた閲覧コーナー



DVDコーナーは満席でした!

ガイドブックや
女性誌が
充実してます!



女性専用スペース・Jクアドラント(表紙)



海外語学研修



Education in Frontline

教育最前線

ハワイ

経営学部スポーツ経営学科4年
山内 建人 さん(沖縄県 読谷高校出身)



きっかけ

私は人生に一度は日本から出て、日本にはないものを学びたいとずっと思っていました。もともと語学には興味があり、将来は国際社会で働きたいと思っていたので、この海外語学研修に参加しようと決めました。

事前に学習しておいたこと

ハワイに行く前から英語の日常会話と英単語の本を買って、できるかぎり英語を身につけるように過ごしていました。単語帳を作り、電車の中など移動時間は少しでもポキャプラーを増やして語学研修が楽しめるように準備していました。また、留学経験のある友達から実体験の話を聞いたりしました。

現地での生活

言葉をうまく伝えられないときは、日本から持ってきた英語に関する本を見ながら話したり、分かる単語を使って伝えるように話していました。日本語が通じるお店でも、あえて英語で注文していました。海はとても綺麗で、毎日のように海に入ってから大学へ行っていました。ハワイアンフードもたくさんあり、とてもおいしかったです。大学では、ハワイ大学の学生や他国から研修に来た人たちと仲良くなり、日に日に充実していきました。

研修先での勉強

研修内容は、ハワイでの生活に困らないための、買い物やホテルでのやりとりに関するその他、キャンパス内を知るため、ハワイ大学の学生と一緒に課題に取り組んだりしながら英語に触れていました。宿題も毎日あって大変でしたが、研修生たちで協力し合い、楽しく取り組みました。課外活動では、ハワイの歴史や文化について学ぶため、パールハーバーやイオラニパレス、ウクレレ体験などに行き、とても充実していました。



授業風景



ハワイの裁判所を見学

ドイツ

経済学部経済学科3年
児玉 修治 さん(岐阜県 大垣工業高校出身)



きっかけ

1年生の時にドイツ語の授業を取っており、元々ドイツ語に興味があったのですが、授業の際に度々ビデオを見る機会があり、ドイツの生活や料理について分かりやすく説明されていて、自然と興味・関心を持ったのがきっかけです。

事前に学習しておいたこと

主に語学に関してですが、ドイツ語の授業時に使った教科書を使いながら勉強しました。また、留学前には先生と1対1でドイツ語の学習をしたり、1月からは、自分で辞書や教科書を見ながら毎日ドイツ語で文章を作り、先生にメールで送り、添削してもらおうというのを繰り返しやりました。辛かったのですが、これをした事で少し自信がつかしました。

現地での生活

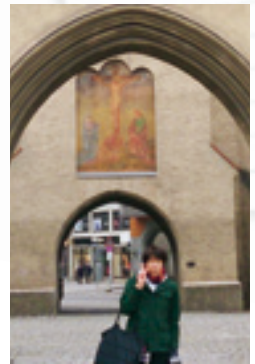
とにかく寒かったです。毎日手袋とニット帽が欠かせませんでした。市街地も雪が日本よりも多く残っていました。ドイツに着いた日もホームステイ先に向かう中、大雪があったのを思い出します。週に1回晴れたらいいくらいでした。ホストファミリーと有名な修道院までドライブに行ったのが良い思い出です。

研修先での勉強

授業はドイツ語と英語で進められました。英語はなんとなく分かるのですが、ドイツ語となると最初はやはり分からない部分が多くありました。しかし、授業を受けていくうちに「あ、ここをこうやればいいのか」と理解できるようになりました。多くの日本人が授業で一緒だったので、分からない所などは教え合いながらやっていくうちに理解する事が出来ました。



街中では祭りが行われていました



ミュンヘンのイザールトア

地域企業研究 - 企業人育成課程 -

経済学科企業人育成課程の2・3年次生12名が、「地域企業研究Ⅲ」の授業の一環として工場見学を行いました。

(株)トーカイ羽島工場では、CO₂排出量を削減するため、都市ガスを使ってボイラーで高圧蒸気を生産させ、各工場へ送る仕組みや、病院リネンを清潔に保つための工場内の洗濯・乾燥・検査・除菌等の一連の工程を見学することができました。

また、揖斐川工業(株)では、4箇所の工場を見学しました。

原石採取工場と神戸工場はバスの車窓から見学し、池田工場と神戸ナリーでは、アグリ・パイオ部の中枢として、農業苗を作るためのブレンド土や、工場機械用に撒きやすく改良された種を見せていただいたり、防虫管理の徹底された建物内に入らせていただき、病害虫の侵入を防ぐことにより、減農薬の苗を生産可能にしている取り組みを拝見することができました。

貴重なお時間をいただき、工場見学にご協力いただいた(株)トーカイの皆様、揖斐川工業(株)の皆様、ありがとうございました。



揖斐川工業(株)での見学の様子(7月2日)



(株)トーカイでの見学の様子(4月23日)



陸上競技部

TRACK AND FIELD



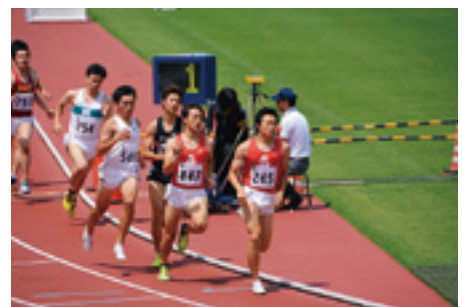
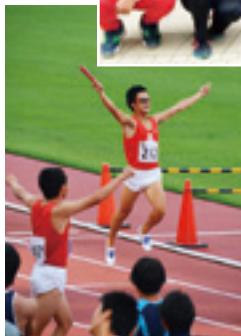
全国で2種目、東海で5種目優勝の快挙!

●日本学生陸上競技個人選手権大会

- 〔種目〕400m 〔記録〕47秒10 **優勝**
東 魁輝(経営学部スポーツ経営学科4年 三重県 伊勢工業高校出身)
- 〔種目〕走幅跳 〔記録〕7m88 **優勝**
外川 天寿(経営学部スポーツ経営学科1年 北海道 斜里高校出身)
- 〔種目〕三段跳 〔記録〕15m58cm 5位入賞
渡部 昇(経営学部スポーツ経営学科4年 三重県 桑名工業高校出身)
- 〔種目〕ハンマー投 〔記録〕60m92cm 7位入賞
篠田 大真(経営学部スポーツ経営学科3年 岐阜県 岐南工業高校出身)

●第81回東海学生陸上競技対校選手権大会 **優勝種目**

- 〈陸上競技部〉
- 〔種目〕400m 〔記録〕47秒39
東 魁輝(再掲)
 - 〔種目〕800m 〔記録〕1分51秒85
市野 泰地(経営学部スポーツ経営学科3年 三重県 津商業高校出身)
 - 〔種目〕走幅跳 〔記録〕7m76
外川 天寿(再掲)
 - 〔種目〕4×400mR 〔記録〕3分11秒39
川野 直哉(経営学部スポーツ経営学科3年 愛知県 名古屋大谷高校出身)
川満 健太(経営学部スポーツ経営学科1年 沖縄県 那覇西高校出身)
市野 泰地(再掲)
東 魁輝(再掲)
- 〈駅伝部〉
- 〔種目〕3000mSC 〔記録〕9分16秒58
安田 翔一(経営学部スポーツ経営学科3年 愛知県 豊橋南高校出身)



男子バレーボール部

MEN'S VOLLEY BALL

歴代記録更新! 東海地区3位へ大躍進!

●東海大学リーグ戦一部 春季大会 第3位

- ベストスコアラー賞 166点
- 加藤 大雄
(経営学部スポーツ経営学科3年 岐阜県 岐南工業高校出身)



2015年度 上半期の主な課外活動成績

硬式野球部

- 平成27年度東海地区大学野球春季リーグ戦・岐阜学生野球リーグ
総合成績 6勝5敗1分 4位
〈個人賞〉
◇打点王
経営学部スポーツ経営学科3年
金城 魁(沖縄県 浦添商業高校出身)
◇ベストナイン(外野手)
経営学部スポーツ経営学科3年
城 憲輝(大阪府 箕面学園高校出身)



一部・三部入れ替え戦で勝利し、一部再昇格!

女子ソフトボール部

- 春季東海地区大学(女子)ソフトボールリーグ戦 **全勝**(5試合・60得点)
◇二部優秀選手賞
経営学部スポーツ経営学科1年
水谷 八重乃(愛知県 豊丘高校出身)



サッカー部

- 第54回東海学生サッカー 一部リーグ戦
前期成績 4勝5敗 勝ち点12 6位



女子バレーボール部

- 東海大学女子バレーボールリーグ二部
通算成績 7勝0敗 **優勝**
〈個人賞〉
◇最優秀選手賞、スパイク賞
経営学部スポーツ経営学科2年
牧田 春奈(長野県 東京都市大学塩尻高校出身)
◇セッター賞
経営学部スポーツ経営学科4年
松永 恵理花(岐阜県 不破高校出身)



一部・三部入れ替え戦で惜しくも敗退



ボート部

BOAT



決勝の様子

全日本軽量級選手権で準優勝!

5月22日(金)から24日(日)まで、埼玉県戸田市戸田ボートコースで行われた第37回全日本軽量級選手権大会において、3年次生2名が男子ダブルスカルで準優勝という快挙を成し遂げました。

●第37回全日本軽量級選手権大会

[種目]男子ダブルスカル [記録]準優勝

伊藤 淳平(経営学部スポーツ経営学科3年 静岡県 天竜林業高校(現:天竜高校)出身)
川村 岳(経済学部経済学科3年 愛知県 猿投農林高校出身)

ボート部監督 堀内俊介氏からのコメント

男子ダブルスカルの決勝は、第1クォーターで、岐阜経済大学は4艇中4位で通過するも、一艇身差で上位クルーについていき、第2クォーター中盤、先行する瀬田漕艇クラブ、東京経済大学に追いつき、2位争いに加わりました。第4クォーターのラストスパートでは、先行する今治造船を追いかける勢いを見せ、2位でゴール。逆風の厳しいコンディションの中、前半戦を耐え、粘り強いレースで銀メダルを獲得しました。



右:伊藤さん、左:川村さん



駅伝部

EKIDEN

全日本大学駅伝対校選手権大会 東海地区選考会で2年ぶり2回目の本戦出場権を獲得!

●秩父宮賜杯 第47回全日本大学駅伝対校選手権大会 東海地区選考会

[総合成績]4時間13分47秒39 **優勝**(2年ぶり2回目本戦出場)

[1組目]

大垣 皓暉(経済学部公共政策学科3年 富山県 富山商業高校出身)
長崎 将志(経営学部スポーツ経営学科1年 滋賀県 滋賀学園高校出身)

[2組目]

平松 翔太(経営学部スポーツ経営学科2年 愛知県 岡崎城西高校出身)
長尾 亮汰(経営学部スポーツ経営学科3年 岐阜県 美濃加茂高校出身)

[3組目]

山下 博(経済学部公共政策学科1年 熊本県 熊本国府高校出身)
鈴木 大史(経営学部スポーツ経営学科3年 岐阜県 市立岐阜商業高校出身)

[4組目]

安田 翔一(再掲)
小藤 友裕(経営学部情報メディア学科3年 岐阜県 市立岐阜商業高校出身)



大学情報発信中!

岐阜経済大学公式facebookページやYouTubeサイトでは、大学に関する情報を随時配信しています。学生たちの活動やキャンパスの様子など、写真や動画を通じて皆さんにお伝えしておりますので、是非ご覧下さい。



<https://www.facebook.com/GifuKeizaiUniversity>



👍をお願いします!



<https://www.youtube.com/GKUPublicity>



2014年度就職状況総括

2014年度は経済が緩やかに回復し、企業の採用意欲も高まったことの反映か、前年度比23.8%増の7868社より求人をしていただきました。しかしながら、依然として厳しい就職環境であり、「コミュニケーション能力や課題解決能力など企業の採用基準は厳しく、「働くこと」の意義が明確に答えられない」「就職活動に出遅れた」「業界企業研究が不足している」といった学生には厳しい状況となりました。

学生の就職活動は、2013年12月から会社説明会が始まり、2014年4月から採用試験。5月には内々定のピークを迎えました。

その結果、就職率(就職希望者に占める就職決定者の割合)は98.3%(2015年5月1日集計)となり、5年連続で改善しています。また実就職率(大学院進学者を除いた卒業生数に占める就職決定者の割合)も89.1%(こちらも4年連続で伸びています)。この先も2014年度卒業生で就職希望者の就職率100%を継続して目指しますが、その一方で数字先行ではなく、一人ひとりの理解と納得の先にある満足を得ることに重きを置いた就職活動サポートを心がけてまいります。

■就職率の推移

	2014年度	2013年度	2012年度
卒業生数	269	288	285
就職希望者数	241	252	249
就職決定者数	237	243	239
就職率	98.3%	96.4%	96.0%
全国平均	96.7%	94.4%	93.9%
岐阜県平均	96.1%	94.3%	93.6%
求人社数	7,868	6,357	5,477

今後始まる就職活動に向けて

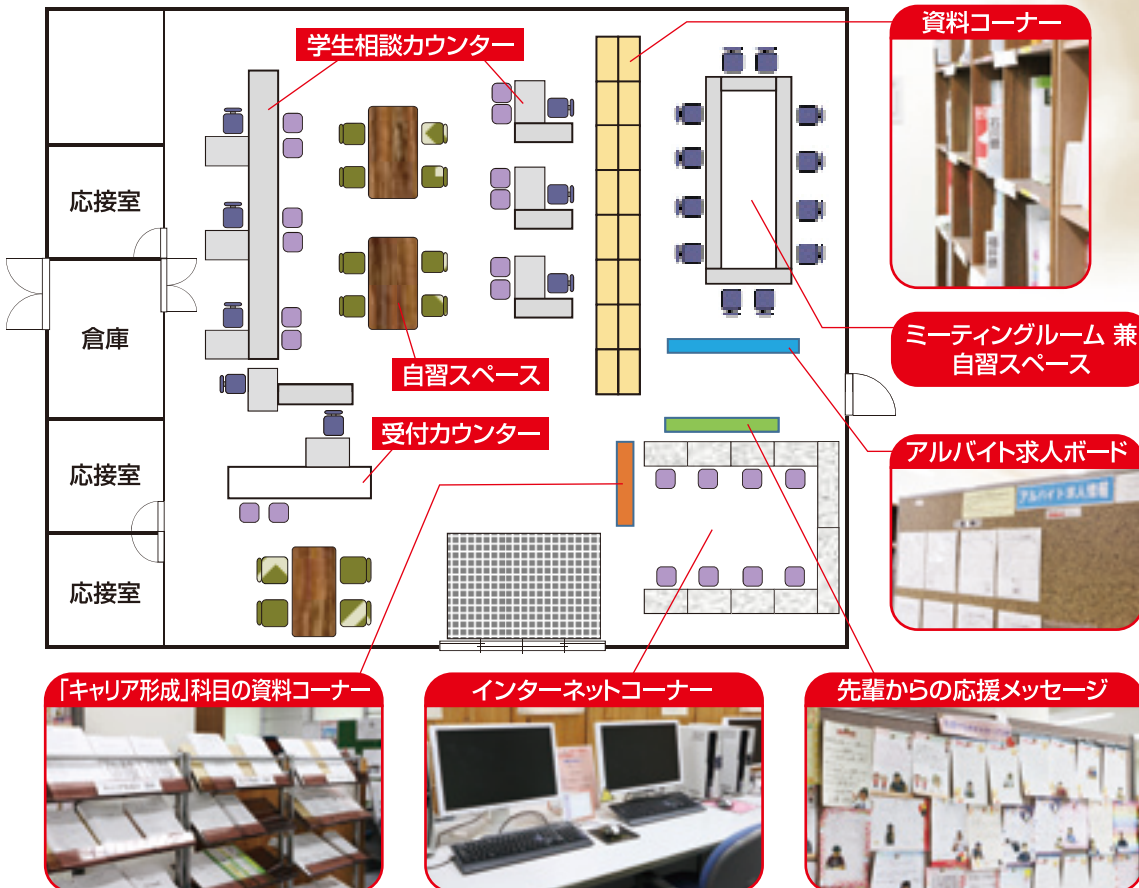
今の行動が皆さんの未来を決めることになるかもしれません。早めに取り組み、一人で悩まずキャリア支援課やゼミの先生に相談して、自分を活かせる会社、好きと思える仕事を掴んで、悔いのない大学生生活にしましょう。



キャリア支援部長
岩坂 和幸 准教授

キャリア支援課 フロアガイド

キャリア支援課では、最新の求人情報をはじめ、企業パンフレット、雑誌、新聞、参考図書等就職に関する資料を揃えています。また就職活動にはインターネットの利用が不可欠で、室内に6台のパソコンを設置、自由に利用できます。



- 開室時間=平日9:00~18:00、土曜9:00~13:00 ※日曜・祝日(授業開講日を除く)は休み
- 大学指定の履歴書は、キャリア支援課で販売しています。

Close-up OB

OB紹介
1

経営者の視点から

本学経済学部経済学科の第5期卒業生でもあり、㈱市川工務店代表取締役副社長、ホテルパストール代表取締役社長をはじめ、数々の役職・公職に就任をされていらっしゃる服部信夫氏が、5月31日付けで本学評議員に就任されました。

服部氏に、現在の業務や大学時代の生活など、インタビューしました。

Q1. 現在の業務内容について教えてください。

㈱市川工務店代表取締役副社長の業務を中心に、8社の経営に携わっています。経営という点では共通していますが、それぞれが独立した企業体ですので、その会社にあった目線でマネジメントをしています。その中で心がけているのが、社員がやる気を持って働ける職場の環境や雰囲気を作ってあげることであり、それが私の仕事でもあります。

Q2. 在学中はどのような大学生活を送っていらっしゃいましたか。

とにかく経済の勉強を一生懸命学んでいました。それが目的で大学に入ったわけですから当然ですが、学ぶという意欲は高かったと思います。その思いで学んだからこそ、岐阜経済大学を卒業したことに誇りを持っているのだと思います。



株式会社市川工務店代表取締役副社長
服部 信夫さん
経済学部経済学科(1974年度卒業)



Q3. 大学で学んだどんなことが、現在役に立っていますか。

私の仕事における基礎の全ては、岐阜経済大学での学びです。私たちの生活は経済の中にあるわけですから、その市場や活動について学んだことは、今の仕事に直結しています。大学を卒業し、㈱市川工務店に入社して営業畑で生きてきました。その中で、経済の市場動向を常に見据える目線が持てたのは、大学での学びがあったからだと確信しています。

Q4. 在学生に向けて一言メッセージをお願いします。

大学で学んでいることが将来どんなことに役立つかはそんなに意識しなくてもいいと思います。それよりも、今、学んでいることに集中してください。それと、様々な角度から物事を考える目線を持つようにしてください。物事を決めつけないこと、人の考えを聞く姿勢を持つことも大切なことです。

OB紹介
2

Catch The Dream -スポーツで夢をかなえる!

現在、地元岐阜のプロサッカークラブ「FC岐阜」の社会人チーム・SECONDに所属し、東海社会人1部リーグで活躍中の藤田さん。第3節を終え3得点と、フォワードとしても活躍中の藤田さんに、これまでのサッカー人生と、今後の夢について語っていただきました。

Q1. 在学中もっとも思い出深い出来事は?

大学4年生の時に天皇杯に出場できたことです。岐阜県大会決勝には何度か行きましたが、優勝したことはなかったので、大学最後の年に岐阜県の代表になれてよかったです。結果は1回戦敗退でしたが、とてもいい経験ができたと思います。

Q2. 「座右の銘」は?

「常に感謝の気持ちを忘れない」

サッカーを始めてからここまで大変多くの方々に応援していただきました。何度か挫折しそうになったときも助けられました。それがいるから今があると思います。自分が戦えるのは「感謝」。これを今後もプレーで表現したいです。

Q3. これからの夢を教えてください。

なんとでもトップチームに昇格したいです。そのために、チームではフォワードとして、「得点」「結果」にこだわって取り組んでいきたいです。

Q4. 在学生の皆さんへ一言メッセージをお願いします。

部活であったり、学業であったりは人それぞれだと思いますが、なにか一つ本気になれることがあるといいと思います。目標、目的を持って悔いのない大学生活を送ってください。



FC岐阜SECOND
藤田 大喜さん
経営学部スポーツ経営学科(2014年度卒業)



プロフィール (これまでのサッカー歴)

7~15歳までレインボー垂井FCで活躍。
中部大学第一高等学校時代(16~18歳)
名古屋グランパスU18に所属。
岐阜経済大学 経営学部スポーツ経営学科
在学中(4年時)に天皇杯出場。
現在、FC岐阜SECONDでフォワードとして活躍中。

「五月祭2015」今年もドッチビーで大盛況!

5月28・29日の2日間にわたって、本学恒例のスポーツイベントである五月祭が開催されました。

昨年度に引き続き、種目はドッチビー。中には、先生自身がメンバーとなって学生と一緒に汗を流したチームや、この日のために密かに練習を繰り返してきたチームもあり、日頃の生活とは違った、チームの一体感・達成感を味わうことができました。

346名の参加者で熱戦が繰り広げられた後は、バーベキュー大会も行われ、大いに盛り上がりました。

運営に携わった、体育会・文化会・岐経祭実行委員会の皆さん、お疲れ様でした!!

- 優勝 大滝4
(大野ゼミ4年)
- 2位 福地ゼミⅢ
- 3位 大場ファイターズ
(大野ゼミ2年)
- 4位 カールじいさんA
(岸ゼミ)
- 5位 アナラー



バーベキューの様子



優勝した「大滝4」の皆さん

マイスター倶楽部が「岐阜県各界功労者」として表彰を受けました。

5月15日(金)、ふれあい福寿会館において岐阜県各界功労者表彰式が行われ、本学のマイスター倶楽部が警察・安全部門での表彰を受けました。

この表彰は岐阜県表彰規程に基づき毎年行われ、各界の振興に顕著な功績のあった個人や団体に贈られます。

今回は、マイスター倶楽部の事業の1つである「防犯コミュニティ研究グループ」の活動が評価され、表彰を受けることとなりました。

当日は77名・7団体の関係者の方々が出席し、マイスター倶楽部からは、代表として飯田 大貴さん(経済学部経済学科3年・愛知県 誉高校出身)が出席し、古田肇岐阜県知事から表彰状と記念品が贈られました。

飯田さんからは「今回、表彰をいただくことができたのは、これまでの先輩たちの頑張りがあったからこそだと思います。私たちの世代も自分たちなりの地域づくり・まちづくり活動を発展させていきたいと思っています。」とコメントがあり、今後の活動への意気込みを新たにしていました。



「今回の表彰をいただくことができたのは、これまでの先輩たちの頑張りがあったからこそだと思います。私たちの世代も自分たちなりの地域づくり・まちづくり活動を発展させていきたいと思っています。」とコメントがあり、今後の活動への意気込みを新たにしていました。



キャンパス 彩々 Campus Saisai

学内で避難所体験を行いました。

いつ起こるか分からない災害に対して、対応できるスキルを身につけることを目的に、6月12・13日の2日間、学内において泊り込みでの避難所体験を行いました。

1日目はハイゼックスを使用した炊き出し体験や、HUG(H:hinanryo避難所、U:unei運営、G:gameゲーム)の体験、2日目は救急救命法とDIG(災害図上訓練)を体験し、大災害を想定した避難所の運営や、AED・心肺蘇生法の学習、地図上の危険予測・避難経路等の確認を行い、大垣市の地勢上の特徴を再認識、安全な避難方法を考えることができました。

今回の避難所体験は、2・3年次生が運営スタッフとして活躍し、自分達が学んだ内容を下級生に教えることにより、自分達の学びの振り返りにもなり、更なる成長につながりました。



HUG体験



救急救命法の指導の様子

ボート部、駅伝部が競技力強化指定団体に認定されました。

本学のボート部、駅伝部が岐阜県競技力強化指定団体に認定されました。

岐阜県は、日本一・世界一を目指すチーム・選手への競技力づくりとスポーツ立県戦略の推進を図るために、今年度は128団体、個人36名に対し、競技力の強化指定の認定を行いました。

5月1日には岐阜県庁で認定証授与式が行われ、ボート部は野松敏雄部長が、駅伝部は島袋匠主将が出席し認定証を授与されました。

ボート部は日本一を、駅伝部は全日本大学駅伝東海地区代表として17位までに入り、現在1枠の東海地区代表枠を2枠に増やすことを目指し強化を行います。





公務員やNPO職員の職務意欲を向上させるしくみを提案したい

みずのわかな
経済学部 水野 和佳奈 准教授

行政法や行政学では、「公務員の仕事は〇〇を目指すべき」「公務員は〇〇を実現するよう仕事をすべき」というような、公務員のあるべき姿に関する研究がされてきました。しかしこうした理想とは異なり、公務員の不祥事や非効率な職務行動等、公務員に対する批判は絶えません。このような理想と現実の差を生み出す理由を探るために、私は現実に向いている公務員の姿に焦点を当てた研究を行っています。例えば、職務意欲が高い公務員とそうでない公務員の意欲の違いを生み出す要因は何か、意欲の違いは職務行動にどう影響を及ぼしているのか、等を研究しています。

近年、公務員の職務活動とボランティア活動との共通点に着目した研究が進んでいます。非営利組織（NPOやボランティア）の活動と公務員の職務活動の共通点はなんでしょうか。その二つにどちらも「公益の実現」のために活動している点が考えられます。両者に共通する「意欲の要因」が明らかになれば、公務員の職務行動を改善できるとともに、ボランティア活動の推進にも役立つでしょう。将来的には、公務員や非営利組織の職員の職務意欲が高まるような「権限の配分」、「評価・昇進のしくみ（公務員制度）」を提案したいと考えています。



バラ祭りにて撮影

PROFILE

幼少期は大阪で過ごし、その後、両親の出身地である宮崎県延岡市へ転居、高校卒業まで延岡市で過ごしました。熊本県立大学、同大学大学院で学んだ後、今年（2015年）3月まで長崎県立大学で8年間勤務し、4月に本学に着任しました。長い時間九州で過ごしてきたためか、寒いのが苦手です。

趣味拝見

庭仕事に興味だった父の影響か、植物を育てたり見たりすることが楽しみの一つです。最近では4月に京都市へ藤の花を見に行きました。長崎県在住時には、5月にハウステンボスで開催される「バラ祭り」を訪れるのが毎年の楽しみでした。「バラ祭り」で撮影した画像はPCの壁紙にして楽しんでいます。岐阜県では可児市「花フェスタ記念公園」でバラがみられるとのこと。来年はぜひ見に行きたい!

ゼミ生からの声

経済学部公共政策学科4年 服部 翔子さん(岐阜県 羽島高校出身)

水野ゼミでは、卒論の基礎を丁寧に教わっています。ディスカッション等を通じて卒論を作成します。



近著紹介

経営者育成の経営学 一脈打つグッドウィルを基盤としたダイナミズム

共同執筆 櫻門書房 2015年3月



経済学部 准教授
大野 貴司

本書は、日本大学経済学部の平野文彦教授の古稀記念論集です。書名の通り、28名の経営学研究者、実務家が論文を寄稿しています。

大野准教授は、第Ⅲ部の「経営戦略論におけるミドルマネジメント・パースペクティブの可能性」の執筆を担当しています。本書において大野准教授は、ミドルマネジャーが戦略形成・変革の主体となるために、トップの戦略計画を理解したうえで、組織における多様性を支援、ときに保護し、そうした変革の「芽」を見つけ、育み、外部環境の変動に合わせてトップへ提案していく必要性を提唱しています。

高齢者ケアの質を高める ICFを活かしたケアプロセス

共同執筆 学文社 2015年2月



経済学部 教授
佐藤 八千子

類書「ICFの視点に基づく高齢者ケアプロセス」の内容を踏まえ、高齢者を取り巻く社会環境、ケアの概念と多職種の連携、ICF(国際生活機能分類)の概念と活用方法を紹介。

さらに、高齢者ケアの場や病状や生活状況に伴う変化に応じて、1事例を<回復期リハビリテーション病院>、<在宅>、<介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)>という3つの療養の場でケアプロセスを展開。同じ対象者であってもアセスメントの方法や必要なケアが異なることを理解できるよう工夫されている。

高齢者ケアを実践する一般病院や介護施設職員、看護、介護を学ぶ学生の方々の一助となる1冊。

〔事業収入〕 599万円

大垣市等からの委託事業5件、165万円、公開講座受講料収入180万円等です。

〔その他の収入〕 4億7,083万円

退職給与引当特定資産1,000万円の取崩し、減価償却引当特定資産1億円を陸上競技場改修費用として充当するため取崩しています。さらに有価証券で運用している減価償却引当特定資産2億円を運用替えにより繰り入れています。また、前年度退職者の退職資金交付額及び前年度受託事業費の未収入金等1億4,884万円が主な内容です。

②支出の部

〔人件費支出〕 9億1,388万円

専任教職員等の給与及び退職者への退職金です。退職者の減少等により、前年度比1億6,897万円の減少となりました。

〔教育研究経費支出〕 5億5,435万円

文部科学省教育活性化設備整備補助事業に採択された「図書館ラーニングcommons」、「地域連携ワークスタジオ」整備の他、学生への奨学事業（学費減免、私費留学生奨学金等）、語学留学助成事業、課外活動助成事業（強化・準強化指定クラブ合宿費、遠征費等）等が主な支出で5億5,435万円となりました。

〔管理経費支出〕 1億6,801万円

大学ホームページのリニューアル事業及び広告費や高校訪問等の学生募集経費が主な支出で1億6,801万円となりました。

〔施設関係支出〕 9,987万円

陸上競技場の全面改修と共に（公財）日本陸上競技連盟第4種公認の再審査を受けました。

〔設備関係支出〕 3,781万円

教育研究用図書及び文部科学省教育活性化設備整備補助事業

等の機器備品を整備しました。

〔資産運用支出〕 2億円

有価証券の運用替えを行いました。

資金収支計算書 平成26年4月1日～平成27年3月31日まで (単位 千円)

収入の部			
科 目	平成26年度	平成25年度	前年度比
学生生徒等納付金収入	1,197,574	1,192,659	4,915
手数料収入	22,074	22,551	△ 476
寄付金収入	13,109	13,559	△ 450
補助金収入	279,226	295,431	△ 16,204
資産運用収入	98,061	89,496	8,565
資産売却収入	695,952	500,000	195,952
事業収入	5,998	36,946	△ 30,948
雑収入	47,206	157,179	△ 109,972
前受金収入	232,406	245,326	△ 12,919
その他の収入	470,835	1,172,025	△ 701,189
資金収入調整勘定	△ 297,349	△ 374,691	77,342
当年度収入の部小計	2,765,096	3,350,483	△ 585,386
前年度繰越支払資金	2,136,473	2,221,790	△ 85,316
収入の部合計	4,901,570	5,572,274	△ 670,703
支出の部			
科 目	平成26年度	平成25年度	前年度比
人件費支出	913,887	1,082,861	△ 168,973
教育研究経費支出	554,356	622,344	△ 67,987
管理経費支出	168,014	160,279	7,735
施設関係支出	99,875	122,448	△ 22,572
設備関係支出	37,815	27,197	10,618
資産運用支出	200,000	1,402,750	△ 1,202,750
その他の支出	49,897	49,451	445
資金支出調整勘定	△ 23,716	△ 31,532	7,816
当年度支出の部小計	2,000,132	3,435,800	△ 1,435,667
次年度繰越支払資金	2,901,437	2,136,473	764,963
支出の部合計	4,901,570	5,572,274	△ 670,703

*上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

〔資産処分差額〕

固定資産（建物、構築物、機器備品、図書等）の処分差額2,470万円を計上しました。

〔基本金取崩額〕

平成26年度に取得した固定資産（陸上競技場、図書館ラーニングcommons機器等）が、処分する固定資産額を下回るため、基本金5,339万円を取崩しました。

消費収支計算書 平成26年4月1日～平成27年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部			
科 目	平成26年度	平成25年度	前年度比
学生生徒等納付金	1,197,574	1,192,659	4,915
手数料	22,074	22,551	△ 476
寄付金	13,917	14,147	△ 229
補助金	279,226	295,431	△ 16,204
資産運用収入	98,061	89,496	8,565
資産売却差額	455,282	234,970	220,312
事業収入	5,998	36,946	△ 30,948
雑収入	47,206	157,223	△ 110,016
帰属収入合計	2,119,342	2,043,426	75,915
消費収入の部合計	2,119,342	2,043,426	75,915
消費支出の部			
科 目	平成26年度	平成25年度	前年度比
人件費	899,842	1,006,963	△ 107,121
教育研究経費	728,241	807,538	△ 79,296
(内減価償却額)	173,982	185,156	△ 11,174
管理経費	202,769	193,300	9,468
(内減価償却額)	34,830	32,909	1,920
資産処分差額	24,706	20,833	3,872
徴収不能額	0	126	△ 126
消費支出の部合計	1,855,559	2,028,762	△ 173,203
当年度消費収入超過額	263,782	14,663	
前年度繰越消費収入超過額	1,410,393	1,340,698	
基本金取崩額	53,394	55,030	
翌年度繰越消費収入超過額	1,727,570	1,410,393	

*上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

(3)貸借対照表

「貸借対照表」は年度末における資産、負債及び基本金等の状況を表したものです。

資産の部の合計は、140億8,914万円となり、前年度末に比べて2億2,220万円増(1.6%増)、負債の部の合計は、7億6,585万円となり、前年度末に比べて4,157万円減(5.4%減)、基本金の部は、115億9,572万円となり、前年度末に比べて5,339万円の減少となりました。この結果、資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味財産」は133億2,329万円となり、前年度比2億6,378万円(2.0%増)の増加となりました。

貸借対照表 平成27年3月31日 (単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	11,135,287	11,580,976	△ 445,689
有形固定資産	5,781,506	5,876,525	△ 95,019
その他の固定資産	5,353,780	5,704,450	△ 350,670
流動資産	2,953,860	2,285,966	667,894
資産の部合計	14,089,148	13,866,942	222,205
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	498,222	512,268	△ 14,045
流動負債	267,631	295,164	△ 27,532
負債の部合計	765,854	807,432	△ 41,577
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	11,393,722	11,447,117	△ 53,394
第4号基本金	202,000	202,000	0
基本金の部合計	11,595,722	11,649,117	△ 53,394
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	1,727,570	1,410,393	317,177
消費収支差額の部合計	1,727,570	1,410,393	317,177
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,089,148	13,866,942	222,205

*上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。

平成26年度決算報告

事業の概要

私立大学を取り巻く環境、とりわけ18歳人口の推移に目を向けると、平成24年から平成29年の6年間は、120万人前後で推移する安定期と言われますが、その後は段階的な減少局面に入ります。こうした大きな変化は、一段と厳しい学生募集が予測され、その対応として、本学は平成24年4月に公共政策学科を開設し、その後も、既存の経済学部及び経営学部の3学科において、教学内容の強化策を策定し、学びの魅力を前面に押し出す取組等を実施してきました。平成26年度は主に次の事業を実施しました。

◎教育改革として

初年次教育の共通化、教務白書の作成、FD活動の一環としてベストティーチャー賞の創設、GPAによる学修成果の達成度評価など、学士課程教育の質的向上のための各種取組を実施しました。

◎補助金事業として

文部科学省の私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金に2件採択され、図書館をラーニングコモンズの環境に、9号館3階の1教室をアクティブラーニングに対応した教室に整備しました。

◎地域連携について

本学の地域での様々な活動が評価され、日本経済新聞社産業地域研究所が行った「地域貢献度」調査において、総合ランキングでは、東海地区の私立大学中1位、「組織・制度」分野ランキングでは、全国2位にランクインしました。

◎大学予算について

平成27年度予算において、学長室機能を強化することを念頭に学長裁量経費を予算化しました。

◎改正学校教育法への対応について

今回の改正は、学長の権限と責任の一致、学長の校務の一部を副学長へ移譲など学長のリーダーシップの確立を後押しするものであり、それにあわせて、教授会の役割を明確にし、大学学則をはじめとする学内の諸規程を整備しました。

◎50周年記念事業について

50周年記念事業の体制を審議しました。

財務の概要

資金収支計算書では、次年度への繰越支払資金は29億143万円となり、前年度より7億6,496万円増加しました。

消費収支計算書では、消費収入合計額から消費支出合計額を差し引いた、単年度の消費収支差額は2億6,378万円の収入超過となり、累積の翌年度への繰越消費収入超過額は17億2,757万円となりました。

(1)資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対応するすべての資金(現金の出入り)の動きを表したものです。資金収支の内容について、主な科目を説明します。

①収入の部

〔学生生徒等納付金収入〕 11億9,757万円

授業料、入学金、実習料、教育充実資金の収入です。授業料納付学生数は1,224名、前年度比491万円の増加となりました。

〔寄付金収入〕 1,310万円

ポート部寄付金291万円、親和会からのスクールバス運行費助成金500万円、スポーツ振興寄付金99万円等を受け入れました。

〔補助金収入〕 2億7,922万円

国庫補助金、地方公共団体補助金の収入です。国庫補助金は2億7,866万円、地方公共団体補助金は、岐阜県からの結核予防費補助金、大垣市からの中心市街地協働型まちづくり事業の助成金合せて56万円を受け入れました。

〔資産運用収入〕 9,806万円

定期預金利息及び有価証券等の利金9,121万円、施設設備の貸出利用料収入684万円です。

〔資産売却収入〕 6億9,595万円

有価証券の売却収入6億9,595万円です。

(2)消費収支計算書

「消費収支計算書」は資金の移動を伴わないもの(現金の出入りの他に消費していくもの)として、減価償却額や退職給与引当金繰入額などを計上し、当該会計年度の消費収入及び消費支出の均衡状態を表したもので、学校法人の経営状況を示し企業会計の「損益計算書」に当たるものです。

学校法人は、安定的かつ持続性保持のために収支均衡を図る観点から企業会計とは異なる処理をしています。学校法人会計基準では消費収支計算書において、基本金組入額(資産)を消費収入から控除した額を消費支出に充て、収支バランスをみるという点が学校法人会計の特徴です。

なお、消費収支計算書は収支科目の多くが資金収支計算書の収支科目と共通していますので、消費収支固有の内容について主なものを説明します。

①収入の部

消費収入の部では「学生生徒等納付金」から「雑収入」までを帰属収入といいます。帰属収入は学校法人の負債(返済義務のない収入)とならない収入のことです。従って資金収支計算書の収入から資金の動きだけを示す「前受金収入」、「その他の収入」、「資金収入調整勘定」等は除かれます。

〔寄付金〕

一般寄付金の他に団体、個人から寄贈された図書等207点、80万円を現物寄付金として計上しました。

〔資産売却差額〕

過年度に評価替えをした有価証券の償還額との差額4億5,528万円を計上しました。

②支出の部

消費支出の部では、施設の建設費や機器備品・図書等の資本的支出に充当する額(基本金組入額)を控除し計上します。従って資金収支計算書の支出科目から「施設関係支出」、「設備関係支出」、「その他の支出」等を除きますが、消費支出として「教育研究経費」及び「管理経費」には各々減価償却額を加算しています。減価償却額は建物、機器備品などの固定資産の当期償却額を計上しています。

学生広報スタッフ募集中!

岐阜経済大学入試広報課では、本学の魅力を高校生に知ってもらうために、さまざまな活動を行っています。本学のことを高校生に、もっと身近に、もっとわかりやすく、もっと魅力的に伝えたいと考えています。そこで在学生のみなさんのアイデアや力をお借りして、いっそう実りのある広報活動をしていくために「学生広報スタッフ」を募集します。広報活動に関心があり、意欲のある方の参加をお待ちしています。

日程

- ・メインオープンキャンパス 8月2日(日)、8月22日(土)、9月13日(日)、10月10日(土)
- ・学園祭オープンキャンパス 11月21日(土)、22日(日)
- ・クリスマスオープンキャンパス 12月19日(土)
- ・スプリングオープンキャンパス 3月19日(土)
- ・マンズリーオープンキャンパス 1月9日(土)、2月13日(土)



法人役員・評議員の一部改選が行われました。

5月27日(水)開催の学校法人岐阜経済大学理事会並びに評議員会において、役員・評議員の一部改選・就任、役員の増員が行われました。法人と大学の重大な転換期ともいえるこの時期、創立50周年を目前に控え責任ある対応を図るための人事となり、理事体制の強化を図りました。

理事長	土屋 暁	(株)大垣共立銀行 取締役頭取
副理事長(常勤)	浅野 照章	(学)岐阜経済大学 副理事長
副理事長(非常勤)	説田 泰朗	(学)岐阜経済大学 副理事長
※理事・評議員	藤野 琢巳	岐阜県副知事
理事・評議員	小川 敏	大垣市長
※理事・評議員	石田 仁	大垣市議会議長
理事・評議員	田口 義嘉壽	セイノーホールディングス(株) 代表取締役会長CEO
理事・評議員	岩田 義文	イビデン(株) イビデングループ代表相談役
理事・評議員	小川 信也	太平洋工業(株) 代表取締役社長
理事・評議員	堤 俊彦	日本耐酸塩工業(株) 代表取締役会長
理事・評議員	河合 進一	河合石灰工業(株) 代表取締役社長
理事・評議員	堀 富士夫	(株)デリカサイト 代表取締役FOUNDER(会長)
理事・評議員	岩井 豊太郎	岐阜県議会議員
※理事・評議員	中村 博宣	前(学)大垣日本大学学園 副理事長
理事・評議員	石原 健一	岐阜経済大学 学長
※理事・評議員	古口 博之	岐阜経済大学 副学長
理事・評議員	竹内 治彦	岐阜経済大学 副学長
理事・評議員	高橋 勉	岐阜経済大学 経済学部長
理事・評議員	小倉 幸雄	岐阜経済大学 経営学部長
理事・評議員	渡邊 正典	岐阜経済大学 事務局長
評議員	一柳 正義	(株)セイノー商事 代表取締役社長
評議員	井上 豊秋	揖斐川工業(株) 代表取締役社長
評議員	今川 喜章	(株)丸順 代表取締役社長
評議員	小川 貴久	太平洋精工(株) 代表取締役社長
評議員	金森 勤	(株)大光 名誉会長
評議員	河合 伸泰	河合石灰工業(株) 取締役副社長
評議員	瀬瀬 多加志	大垣病院 副院長
※評議員	五藤 義徳	(株)大垣共立銀行 執行役員/(株)OKB総研 社長
評議員	高橋 利行	岐阜県立大垣北高等学校 校長
評議員	田中 良幸	サンメッセ(株) 代表取締役会長
評議員	西脇 史雄	大垣信用金庫 会長
評議員	日比 利雄	(株)エヌピーシー 代表取締役社長
評議員	平林 佳郎	イビデン(株) 常勤監査役
評議員	三輪 高史	グレートインフォメーションネットワーク(株) 取締役社長
※評議員	矢橋 慎哉	矢橋工業(株) 代表取締役会長
評議員	浅井 清貴	画家・現代美術造形作家
評議員	武藤 鉄弘	美濃市長
※評議員	服部 信夫	(株)市川工務店 代表取締役副社長
評議員	安田 良邦	岐阜経済大学 校友会会長
評議員	塚原 康之	岐阜経済大学 理事長室長兼企画広報課長
評議員	安田 天	岐阜経済大学 総務課長
評議員	坂 覚則	岐阜経済大学 財務課長
評議員	宮川 祐志	岐阜経済大学 教務課長
※監事	浅野 圭一	東海サーモ(株) 代表取締役社長
※監事	河合 保孝	(株)アレックカワイ 代表取締役社長/大垣市教育委員長
監事	山本 謙	大垣市教育長

※は新任

教職員人事

新規採用

2015年4月1日付



野崎 道哉
経済学部准教授
弘前大学大学院
地域社会研究科
博士(後期課程修了)
博士(学術)



水野 和佳奈
経済学部准教授
熊本県立大学大学院
アドミニストレーション研究科
博士(後期課程)
単位取得満期退学



為房 牧
経営学部講師
岡山大学大学院
社会文化科学研究科修了



田中 紀子
経営学部講師
広島大学大学院
教育学研究科
教育人間科学専攻
博士(後期課程)
単位取得退学



清棲 万里
教務課主事
愛知副都大学
コミュニケーション学部卒業



品田 直宏
入試広報課
スポーツ指導職員
筑波大学大学院
人間総合科学研究科修了



寺田 亮太
学生課・スポーツ振興室
スポーツ指導職員
岐阜経済大学
経営学部卒業



荒木 優治
学生課・スポーツ振興室
専門員
岐阜経済大学
経営学部卒業



八田 幸明
キャリアアドバイザー

学内役職者

2015年5月1日付

昇格

2015年4月1日付

古口 博之
副学長(経営学部教授)
大野 貴司
教務部長(経営学部准教授)

加藤 由紀子
経営学部教授
伊藤 嘉人
経営学部准教授

配置転換

2015年4月1日付

名誉教授

2015年4月1日付

釣餌 丈志
入試広報課長(キャリア支援課長)
田中 俊彦
キャリア支援課長(入試広報課長)

木村 隆之
経済学部教授

退職

2015年3月31日付

木村 隆之 経済学部教授
今井 良幸 経済学部准教授
焼田 紗 経済学部講師
徳永 俊太 経営学部准教授
崔 宇 経営学部講師
伊藤 仁美 教務課主査

松井 典子 総務課(兼)学生課参与
岡本 高廣 入試広報課調査役
長瀬 信 キャリアアドバイザー
小堀 雅夫 キャリアアドバイザー
塚田 勝 特別キャリアアドバイザー